

## ドイツ語（初級B） 第26回 形容詞・副詞の比較

範囲：教科書第16課A（S.62-64）

### 《今回の基本例文》

90. Deutsch ist so schwer wie Französisch. (CD78-2)

ドイツ語はフランス語と同じくらい難しい。

[同等比較 (so+原級+wie)]

91. Die Jungfrau ist höher als der Fuji. (CD79-3)

ユングフラウは富士山より高い。

[比較級の述語的用法 (比較級+als)]

92. Barbara ist die kleinste in ihrer Familie. (CD80-1)

バルバラは家族のなかで最も背が低い。

[最上級の述語的用法 (定冠詞+...ste)]

93. Der Blick auf den See ist von hier am herrlichsten. (CD81-1)

湖への眺望は、ここからが最もすばらしい。

[最上級の述語的用法 (am+...sten)]

94. Die Donau ist ein längerer Fluss als der Rhein. (CD82-2)

ドナウ川はライン川より長い河川である。

[比較級の付加語的用法 (混合変化)]

95. Der Pazifik ist das größte Meer der Welt. (CD82-4)

太平洋は世界最大の海洋である。

[最上級の付加語的用法 (弱変化)]

## I 形容詞の比較級と最上級

### A. 形容詞・副詞の比較 (S.62)

#### 1 形容詞の比較変化

比較級 (より～である) = 原級 + er

最上級 (最も～である) = 原級 + st

◇ 英語と同じく、ドイツ語の形容詞にも原級、比較級、最上級が存在する。もちろん、辞書に載っている基本的なかたちは原級であり、ほか2つについては、

- ・比較級：「より～である」
- ・最上級：「最も～である」

の意味となる。

◇ 形容詞の比較変化には、やはり規則変化と不規則変化がある。

\* 英語を思い出すと、big - bigger - biggest (規則変化)、good - better - best (不規則変化) のような比較変化が存在した。

◇ **規則変化**は、

- ・ **比較級は原級+er** によって、**最上級は原級+st** によってつくる：

klein - kleiner - kleinst, klar - klarer - klarst...

\* 英語の最上級 (規則変化) が *-est* であるのとは異なることに注意。

\*\* 英語の場合、音節数の多い形容詞の比較級は *more*、最上級は *most* を使用してつくる。ドイツ語にはこの規則はない。

- ・ ウムラウトできる幹母音 (a, u, o) を含む場合、比較級と最上級は**変音**するものが多い：

klug - klüger - klügst...

\* 前掲の klar のように、a, u, o を含んでいるからといって必ず変音するわけではない。

- ・ 原級が *-d, -t, -tz, -z, -s, -ss, -sch, -ß* で終わる場合、最上級は**原級+est** になる：

gesund - gesunder - gesundest, alt - älter - ältest...

\* alt の場合、変音もしている。

- ・ ほか、いくつか細かい規則があるが、現段階ではこれだけ覚えればよい。

◇ **不規則変化**は、教科書にあるものを覚えること (本資料 S.6 にまとめ)。

**2 原級による比較の用法 (同等比較)**

so + 原級 + wie ... : 「...と同じくらい~である」 (同等比較)

- ◇ **同等比較**は **so+原級+wie ...** による (英語の「*as+原級+as...*」に相当)。

- ◇ wie は前置詞ではなく接続詞である。主語と同格の対象を比較する場合 (「A は B と同じくらい~である」の場合)、wie の次は 1 格になる。

Joachim ist so alt wie Christian.

(1 格) (1 格)

ヨアヒムはクリスティアンと同じ年である (同じくらい年配である)。

- ◇ 同等比較の否定は劣等比較の意味になる。

Er ist nicht so alt wie ich.

彼は私より年上ではない。

= Er ist jünger als ich.

彼は私より若い。

\* 後者は比較級を用いた書き換え。比較級については、教科書<sup>3</sup>および本資料 S.3 以下を参照。

\*\* 前述の通り wie は前置詞ではないので、wie ich となっているところにも注意。英語でも正式には *as old as I* である。

- ◇ 倍数や分数を表す形容詞を so+原級+wie ... の前に挿入することで、「~倍」や「~分の一」を表すことができる。doppelt (倍の)、dreimal (3 倍の)、halb (半分の) など。

Er ist doppelt so reich wie ich.

彼は私の倍ほどの金持ちである。

Die Ernste ist dieses Jahr halb so gut wie im vorigen Jahr.

今年の収穫は去年の半分くらいしかない。(収穫は、今年においては去年の半分くらいしかよくない。)

\* この場合、副詞的 4 格である dieses Jahr と副詞句である im vorigen Jahr を比較している。

### 3 比較級の述語的用法

#### 比較級 + als ... : 「...よりも～である」

- ◇ 比較級 + als ...で、「比較対象 (als 以下) より～である」の意味 (英語の「比較級 + than」に相当)。
- ◇ als はやはり前置詞ではなく接続詞なので、als の次には主語と同じ 1 格が来る。

\* 英語でも「私より背が高い」と言うときは、*taller than me* は略式で、正式には *taller than I* である。

Gestern war es wärmer als heute.

昨日は今日よりも暖かかった。

Hans ist größer als Peter.

ハンスはペーターよりも背が高い。

\* 上の文は *gestern* と *heute* という副詞同士を、下の文は主語 (人間) と別人を比較している。

### 4 最上級の述語的用法 (S. 63)

#### 定冠詞 + ...ste : 「最も～である」

#### am + ...sten : 「最も～である」

- ◇ 英語で形容詞の最上級を補語として「最も～である」と言う場合、一般に最上級には *the* をつける。

*This lake is the deepest in Japan.*

ドイツ語でも同様に、最上級を述語内容語にするときには定冠詞をつける。そのとき、ドイツ語では定冠詞に性数格の変化があり、さらに定冠詞 + 形容詞では弱変化の語尾 (⇒教科書 S. 39) が必要である。述語内容語は 1 格なので、述語内容語とした最上級には弱変化 1 格の語尾 *-e* を加え、

#### ・定冠詞 + ...ste

としなければならない。もちろん、定冠詞の種類は主語の性に依存して、主語が男性名詞なら *der*、女性名詞なら *die*、中性名詞なら *das*。

\* 形容詞の名詞化用法 (⇒教科書 S. 41) と似ているが、最上級の語頭は小文字でよい。

Dieser See ist der tiefste in Japan.

この湖は日本で最も深い。

Er ist der begabteste in unserer Klasse.

彼は私たちのクラスで最も才能がある。

\* 主語が男性 (の人称代名詞) なので、定冠詞には *der* が選択されている。

- ◇ 一方、前置詞 *an* と定冠詞の融合形 *am* を最上級につけるやり方もある。*am = an dem* なので、こちらも結局は定冠詞 (男性もしくは中性 3 格) を最上級につけているのと同じである。よって、弱変化の男性 3 格もしくは中性 3 格の語尾 *-en* を加え、

#### ・am + ...sten (最上級の弱変化 3 格)

とする。この場合、主語に応じた定冠詞を選ぶ必要はない。

Er ist am begabtesten in unserer Klasse.

彼は私たちのクラスで最も才能がある。

\* 前掲の 2 番目の文の書き換え。

- ◇ 「定冠詞 + ...ste」方式と「am + ...sten」方式は、通常はどちらを用いてもよい。

◇ ただし、ある主語の属性を複数の条件のもとで比較する場合は、「am+...sten」方式を用いる。

Im Winter sind die Tage am kürzesten.

冬には日が一番短くなる。

\* 主語 die Tage (日、days) の長さを季節という複数の条件ごとに比較している文。

## 5 比較級・最上級の付加語的用法

◇ 形容詞の比較級も最上級も、名詞への付加語として用いる場合、名詞の性数格に応じて変化する。

Er besucht seinen besten Freund in München.

彼は親友をミュンヘンに尋ねる。 (⇒授業第23回配付資料 S. 1)

Wir müssen unser Bestes tun.

私たちはベストを尽くさねばならない。 (⇒教科書 S. 41)

\* 上の文では混合変化の男性4格が、下の文では混合変化の中性4格の名詞化が用いられている。

◇ 変化形は一般の(原級の)形容詞と同じ。

### 《形容詞の復習》

用法: a) 付加語、d) 名詞化 (格変化あり)

b) 副詞、c) 述語 (格変化なし)

格変化: 無冠詞 → 強変化

定冠詞 (型) つき → 弱変化

不定冠詞 (型) つき → 混合変化

\* 強変化/弱変化/混合変化の表は教科書 S. 39-40 を、それらの覚え方は授業第17回配付資料 S. 3-4 を参照のこと。

つまり、比較級や最上級の付加語用法の場合、比較級や最上級の語尾に加えて形容詞の付加語用法の語尾がつく。例えば、jung (若い) の比較級は jünger であるが、これで Sohn (息子) を修飾して「年下の息子」と言いたい場合、下記のようになる (いずれも男性1格、それぞれ強変化/弱変化/混合変化)。

jüngerer Sohn / der jüngere Sohn / ein jüngerer Sohn

\* これらの発音に関しては、語尾のついていない jünger が jün|ger と音節ごとに切れるのに対して、jüngerer は jün|ger|er、jüngere も jün|ger|e と切れることに注意 (ihr や unser など所有代名詞のとときと同じ)。

◇ 形容詞の比較級を付加語的用法として用いた場合でも、比較の対象は als で表すのは変わらない。

Heute haben wir schöneres Wetter als gestern.

今日は昨日より天気がよい。(今日、我々は昨日より美しい天気を持っている。)

\* 強変化の中性4格。

Ich fahre mit meinem jüngsten Sohn.

私は私の末の息子と車で行く。

\* 混合変化の男性3格。

Das ist das Schönste, was ich je gesehen habe.

それは、私が今までに見た、最も素晴らしいものである。 (⇒教科書 S. 61)

\* 弱変化の中性1格の名詞化。最上級の名詞化を先行詞とする場合、関係代名詞には was を用いる。

## 6 副詞の比較 (S. 64)

比較級 (より～である) : 原級 + er

最上級 (最も～である) : am ...sten

\* 原則として形容詞と同じと考えればよい。

- ◇ ドイツ語の副詞にも原級、比較級、最上級が存在する。
- ◇ 不規則変化の副詞としては、さしあたり *gern – lieber – am liebsten* を覚える。
- ◇ 副詞の場合も、比較級のつくり方、同等比較、比較級 + *als* の用法については形容詞と同じ。ただし、副詞の最上級は常に *am + ...sten* となる。

Das Auto fährt schneller als das Fahrrad, aber der D-Zug am schnellsten.

自動車は自転車よりはやく走るが、急行列車が最もはやく走る。

Ich trinke lieber Wein als Bier, aber Schnaps trinke ich am liebsten.

私はビールよりワインが好きだが、シュナppsが一番好きである。

\* Schnaps はアルコール度数の高い蒸留酒の総称。

## 7 比較級を用いた重要表現

- ◇ **immer + 比較級 / 比較級 und 比較級** : 「ますます～」

・英語の「*比較級 and 比較級*」に相当。

Der Taxifahrer fuhr immer schneller.

= Der Taxifahrer fuhr schneller und schneller.

タクシー運転手はますますスピードを上げた。

Die Tage werden immer länger.

= Die Tage werden länger und länger.

日がどんどん長くなる。

- ◇ **je + 比較級 ~ , desto + 比較級 ... / je + 比較級 ~ , um so + 比較級 ... :**

「～すればするほど...」

・英語の「*the + 比較級, the + 比較級*」に相当。

・この場合、最初の **je + 比較級** が副文、**desto + 比較級** が主文になる。このため、**je + 比較級** は定動詞後置、**desto + 比較級** は定動詞第2位。

Je mehr er trank, desto lustiger wurde er.

(副文)

(主文)

飲めば飲むほど彼は陽気になった。

\* *desto lustiger* のあとに定動詞 *wurde* が来ている (定動詞第2位)。

\*\* この構文の場合、副文 *Je mehr er trank* を一要素として次に定動詞を置くことにはならない。副文を文頭に出した文 (⇒教科書 S. 35) のなかでは特殊例にあたる。むしろ、*Je mehr er trank, desto lustiger* まで一要素と考えた方がよい。

**練習問題の補足**

**Übung 2 (S. 63)**

2~3. 山や川の固有名詞にも文法上の性が決まっており、定冠詞をつけて呼ばれる。der Rhein (*m.* ライン川)、die Donau (*f.* ドナウ川)、die Jungfrau (*f.* ユングフラウ) など。日本の山や川にも性別が与えられる。der Fuji (*m.* 富士山)、der Tone (*m.* 利根川) など。

\* 固有名詞の性別がわからない場合、辞書に載っていないなら、ドイツ語版 wikipedia などが参考になる場合がある。

**Übung 5 (S. 64)**

2~3. 同上。

**参考 形容詞・副詞の不規則変化のまとめ**

◇ 以下の表の太字部分を覚えてほしい。

	原級	比較級	最上級	意味
形容詞	gut	besser	best	よい
	viel	mehr	meist	多い
	groß	größer	größt	大きい
	hoch	höher	höchst	高い
	nah	näher	nächst	近い
副詞	gern	lieber	am liebsten	好んで
	bald	eher	am ehesten	すぐ
	oft	öfter	am öftesten	頻繁に
	wohl	wohler /besser	am wohlsten /am besten	よく

・厳密に言えば、viel (多い) は形容詞ではなく、不定代名詞の仲間である。このため、付加語として用いた場合でも、viel は性数格変化をしない場合が多い。また、viel の比較級である mehr は、確実に性数格変化をしない。よって、「たくさんのお金」は viel Geld、「より多いお金」は mehr Geld になる。 (⇒教科書 S. 63)

\* 「viel は性数格変化をしない場合が多い」と書いたが、する場合もある。ただし、初級を逸脱するやや高度な文法事項なので、ここでは触れない。

・上記の性質は wenig (少ない) およびその比較級 weniger についても同じ。「少ないお金」は wenig Geld、「より少ないお金」は weniger Geld。genug (十分な、英語の enough に相当) なども同様。

・hoch の比較変化については、発音に注意。hoch は[hɔ:x]、höher は[hø:ər]、höchst は[hø:çst]になる。授業でも確認する。

\* hoch はそもそもやや特殊な形容詞で、付加語用法では hoh-となった。 (教科書 S. 39)

**連絡先など**

教員のメールアドレス: tokan@nifty.com 授業のウェブサイト (進捗表示、配付資料あり): <http://hasegawa.la.coocan.jp/lecture/>